

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月10日
上場取引所 東

上場会社名 双葉電子工業株式会社

コード番号 6986 URL <http://www.futaba.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有馬 資明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務管理本部長 (氏名) 中村 正行 TEL 0475-24-1111

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	22,922	△23.1	△2,037	—	△1,924	—	△2,992	—
2020年3月期第2四半期	29,807	△10.9	△760	—	△730	—	△4,561	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △2,099百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 △7,799百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△70.54	—
2020年3月期第2四半期	△107.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	94,104	84,252	79.3
2020年3月期	98,037	87,125	79.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 74,602百万円 2020年3月期 77,570百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2021年3月期	—	14.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	△19.6	△4,100	—	△3,500	—	△6,800	—	△160.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	42,426,739株	2020年3月期	42,426,739株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	8,462株	2020年3月期	8,271株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	42,418,357株	2020年3月期2Q	42,402,736株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しており、緊急事態宣言の解除とともに個人消費や輸出などで持ち直しの動きがみられるものの、企業収益の減少や設備投資の低迷など、依然として厳しい状況が続いております。

また、世界経済においては、中国では景気の回復が見られ、欧米諸国ではロックダウンの解除など段階的な経済活動の再開に動き始めておりますが、新型コロナウイルス感染症の脅威は依然として継続しております。そのほか、貿易摩擦や香港問題による米中対立、米国の大統領選挙を控えた政治経済の停滞などの不安材料も存在しており、極めて不透明な状況となっております。

このような状況のなか、当社グループは、業績の改善と事業の発展を図るべく、「体質の改善」「深化と拡張」「投資と挑戦」を基本方針とした2020年度から2022年度までの中期経営計画（FIP2023）を2020年8月に公表しました。

FIP2023に基づき当第2四半期におきましては、ドローン関連製品や金型内計測システムのデータを一括管理するI o Tシステム「MMS Cloud」などの新製品・サービスを積極的に市場に投入しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、次のとおりになりました。

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率 (%)
売上高	29,807	22,922	△23.1
営業損失(△)	△760	△2,037	—
経常損失(△)	△730	△1,924	—
親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	△4,561	△2,992	—
米ドル平均レート	109円/\$	107円/\$	△2円

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

① 電子デバイス関連

(主な製品：蛍光表示管、有機ELディスプレイ、タッチセンサー、複合モジュール、産業用ラジコン機器、ホビー用ラジコン機器等)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減率 (%)
売上高	14,646	9,445	△35.5
営業損失(△)	△656	△1,895	—

有機ELディスプレイでは、在宅勤務の増加によるWi-Fiルータ向けが好調でしたが、その他の用途が減少したため、売上げは前年同期を下回りました。

タッチセンサーでは、主力の車載用途においてコモディティ化の影響のほか、新型コロナウイルス感染症拡大による顧客の操業停止のため受注の減少が続き、売上げは前年同期を下回りました。

複合モジュールでは、EMSにおいて受注の回復が一部で見られるものの、売上げは前年同期を下回りました。

産業用ラジコン機器では、トラッククレーン向けや農業関連向けは堅調に推移しましたが、FA向けが低迷したことから、売上げは前年同期を下回りました。

ホビー用ラジコン機器では、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛などの影響により北米のインターネット販売が好調であったことから、売上げは前年同期を上回りました。

② 生産器材

(主な製品：プレート製品、金型用器材、成形合理化機器)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減率 (%)
売上高	15,169	13,486	△11.1
営業損失(△)	△103	△142	—

国内では、自動車関連や設備投資関連の市場低迷が続いたことから、モールドおよびプレス金型用器材は低調に推移し、成形合理化機器も伸び悩んだことから、売上げは前年同期を下回りました。

海外では、主力の韓国において、自動車向けおよび携帯電話向けが軟調に推移し、為替の影響等も受けたため、売上げは前年同期を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金や受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ39億3千3百万円減少し、941億4百万円となりました。

負債は、未払費用や支払手形及び買掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ10億5千9百万円減少し、98億5千2百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ28億7千3百万円減少し、842億5千2百万円となりました。この結果、自己資本比率は79.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月5日に公表しました連結業績予想から、修正は行っていません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,757	41,183
受取手形及び売掛金	14,189	12,636
有価証券	993	1,555
商品及び製品	4,095	3,200
仕掛品	2,622	2,405
原材料及び貯蔵品	6,399	5,928
その他	1,578	1,225
貸倒引当金	△502	△590
流動資産合計	72,135	67,545
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,429	5,444
機械装置及び運搬具(純額)	2,321	2,385
工具、器具及び備品(純額)	286	341
土地	8,057	8,130
リース資産(純額)	0	0
建設仮勘定	134	26
その他	427	405
有形固定資産合計	16,656	16,734
無形固定資産		
のれん	117	99
その他	652	697
無形固定資産合計	770	796
投資その他の資産		
投資有価証券	6,667	7,082
その他	2,339	2,550
貸倒引当金	△531	△604
投資その他の資産合計	8,475	9,028
固定資産合計	25,902	26,559
資産合計	98,037	94,104

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,287	2,016
短期借入金	764	729
未払費用	2,420	2,039
未払法人税等	379	291
賞与引当金	869	731
その他	1,964	1,865
流動負債合計	8,685	7,674
固定負債		
繰延税金負債	597	679
役員退職慰労引当金	61	58
退職給付に係る負債	877	776
その他	689	662
固定負債合計	2,226	2,177
負債合計	10,911	9,852
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,558	22,558
資本剰余金	21,560	21,560
利益剰余金	39,031	35,445
自己株式	△15	△15
株主資本合計	83,135	79,549
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△641	81
為替換算調整勘定	△5,055	△5,028
退職給付に係る調整累計額	131	0
その他の包括利益累計額合計	△5,565	△4,946
非支配株主持分	9,555	9,649
純資産合計	87,125	84,252
負債純資産合計	98,037	94,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	29,807	22,922
売上原価	24,233	19,385
売上総利益	5,573	3,537
販売費及び一般管理費	6,333	5,574
営業損失(△)	△760	△2,037
営業外収益		
受取利息	207	114
受取配当金	141	126
補助金収入	—	132
その他	73	93
営業外収益合計	421	466
営業外費用		
為替差損	316	287
その他	75	66
営業外費用合計	391	353
経常損失(△)	△730	△1,924
特別利益		
固定資産売却益	162	4
投資有価証券売却益	107	—
ゴルフ会員権売却益	—	104
特別利益合計	269	108
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産廃棄損	3	0
投資有価証券評価損	233	—
減損損失	3,523	626
事業再編損	—	148
特別損失合計	3,760	775
税金等調整前四半期純損失(△)	△4,221	△2,592
法人税、住民税及び事業税	236	209
法人税等調整額	△64	90
法人税等合計	171	300
四半期純損失(△)	△4,392	△2,892
非支配株主に帰属する四半期純利益	169	99
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,561	△2,992

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△4,392	△2,892
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△185	772
為替換算調整勘定	△2,986	151
退職給付に係る調整額	△235	△130
その他の包括利益合計	△3,406	793
四半期包括利益	△7,799	△2,099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,234	△2,373
非支配株主に係る四半期包括利益	△565	274

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△4,221	△2,592
減価償却費	866	613
のれん償却額	92	18
減損損失	3,523	626
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△18	150
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	100	△107
賞与引当金の増減額(△は減少)	42	△139
受取利息及び受取配当金	△348	△240
為替差損益(△は益)	179	199
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	△158	△3
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	126	—
固定資産解体撤去費用	29	24
事業再編損	—	148
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	—	△104
売上債権の増減額(△は増加)	1,870	1,479
たな卸資産の増減額(△は増加)	155	1,578
仕入債務の増減額(△は減少)	△379	△279
その他	△491	△565
小計	1,367	807
利息及び配当金の受取額	369	309
利息の支払額	△10	△1
事業再編による支出	—	△218
法人税等の支払額	△31	△352
法人税等の還付額	15	90
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,710	635
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△8,440	△12,642
定期預金の払戻による収入	8,933	12,484
有価証券の取得による支出	—	△444
有形固定資産の取得による支出	△760	△1,110
有形固定資産の売却による収入	345	6
投資有価証券の取得による支出	△168	△200
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,054	502
貸付けによる支出	△2	△2
貸付金の回収による収入	3	1
ゴルフ会員権の売却による収入	—	104
その他	△188	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	777	△1,314

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△43	△45
リース債務の返済による支出	△91	△80
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△3,138	△593
非支配株主への配当金の支払額	△238	△179
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,513	△899
現金及び現金同等物に係る換算差額	△760	△126
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,785	△1,704
現金及び現金同等物の期首残高	32,854	29,585
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,069	27,880

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子デバイス 関連	生産器材	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,639	15,167	29,807	—	29,807
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	1	8	△8	—
計	14,646	15,169	29,816	△8	29,807
セグメント損失(△)	△656	△103	△760	△0	△760

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去です。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

生産器材セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上しています。当該事象によるのれんの減少額は885百万円です。

(固定資産に係る重要な減損損失)

生産器材セグメントにおいて、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった当社における事業用資産の帳簿価額を、回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては2,063百万円です。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子デバイス 関連	生産器材	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,441	13,481	22,922	—	22,922
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	4	8	△8	—
計	9,445	13,486	22,931	△8	22,922
セグメント損失(△)	△1,895	△142	△2,037	0	△2,037

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額0百万円は、セグメント間取引消去です。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

電子デバイス関連セグメントにおいて、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった当社および一部の連結子会社における事業用資産の帳簿価額を、回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては509百万円です。